

災害のお見舞い

このたびの台風15号、さらに続いた19号による暴風雨や河川の氾濫等によって、多くの都県の広い範囲において甚大な被害がありました。

犠牲になられた方々、ご遺族の皆様にご哀悼の意を表しますとともに、被害を受けられた方々が、一日も早く平穏な生活に戻れますことをお祈り申し上げます。

今までに経験したことのないような激しい風雨、大きな河川の氾濫や浸水被害、土砂崩れなどが、繰り返しニュース映像として流れる様子を目にし、年々増える大規模な自然災害の恐ろしさを痛感する数日でした。

いまだに行方不明の方もおられ、被害の全容が把握できていない部分もあります。一方で、各地で自助・共助の輪が広がり、ボランティアの皆さんなどのお力も受けながら、前を向いて進み始めている様子も見聞きます。

全幼Pとしても、情報収集に努め、各地の被害状況を確認しながら、組織としての絆を深め、国公幼とも連携して、仲間としてなすべき支援、仲間だからできるサポートを考えて参ります。困ったときはお互い様です。子どもたちの笑顔のために…、少しでも被災された皆さんのお力になれるようにと思っています。

猛暑が続いた後、立て続けに襲来した台風が過ぎ去って、ようやく秋の色が濃くなってきました。被災地では、すでに心身ともに大きなダメージを受けておられる上に、朝晩の寒さで体調を崩すことも案じられます。くれぐれもご自愛いただきますよう、お祈り申し上げます。

令和元年10月17日

全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会
会 長 猪 木 直 樹